

# 市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が市側の考え方をただすことができるものです。  
12月定例会では、12月13日・14日の本会議で13人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、4面まで続きます)。

## 分かりやすい情報提供と 充実した資料提供を望む

### 農業環境にも配慮した寺 上線西側の市街化整備を

あやせ市政クラブ 安藤多恵子

問 十一月一日号の広報あやせにおいて、市の決算を家庭の家計簿に見立てて、大変分かりやすく情報提供されており、積極的な情報公開の姿勢として評価する。さらに、予算書、決算書及び付属説明資料等を誰にでも分かるものにする考えはないか。議会への情報提供についても本市は、他市に比べて資料が少ない。夕張市の財政破たんの例からも、議会がチェック機能を果たすには、十分な資料がなければ責任のある判断は出来ないため、監査委員と同じ資料を提供できないか。

答 予算は、様式が年度ごとや団体ごとに異なるよう総務省令で基準が定められ、決算書もルールに基づき同様に調製しているため、変更は難しい。また、市独自の付属書類として予算にはその概要を、決算にはその説明資料を添付している。現在も、グラフ化するなど工夫しているが、決算資料では、事業の実績や効果を記述するなど工夫していきたいと考える。議会への情報提供は、議員の総意として要望があれば検討したいが、現段階では予算の説明資料の中で工夫し、今後、議会側と連携をとって検討していきたい。(他に「市民協働の今後のすめ方について」「指定管理者制度について」を質問)

あやせ市政クラブ 青柳 慎

問 本市の中心市街地は深谷中央地区の事業進展に伴い、さらに人口増加が見込まれる。また、東名緩瀬インターチェンジが完成すると、寺上土棚線の通行車両の増加が予想される。このような中、さらなる活性化のため、市民文化センター前の農道を段階的に開発すべきと考える。まずは、高齢化などにより厳しい状況にある農業の振興のため、農地の集約や農業環境を整備し、都市型農業を推進した上で、開発すべきと考えるが、この地区を約三十四軒のセントラルパーク都心とする中心市街地活性化基本計画をどう進めるのか。

答 この計画は、平成十年に本市の中心核として、市庁舎を中心とした寺上線西側の将来市街地を含めた約二百二十五軒の土地利用構想を示したものが、本年八月の法律改正で、新たに市街地として整備する地区を中心市街地に位置付けることが難しくなった。しかし、将来の本市の顔となる中心市街地の拡充には、寺上線西側の拠点整備が必要なため、



毎月27日を「交番の日」として、大和警察署により移動交番が開設されています。県警の担当者が犯罪被害をはじめ、さまざまな相談に応じています。この機会に、予約なしで気軽にご利用ください。(市役所1階市民ホールにて)

## リサイクルの普及 啓発のためプラザ のさらなる充実を

公明党 矢部とよ子

問 本市では、資源循環型社会の構築を目指し、資源のリサイクルやごみの減量など、さまざまな取り組みを行っている。平成十二年にはリサイクルの普及啓発を目的にリサイクルプラザをオープンし、リサイクルフェスタやリサイクル教室などを実施しており、年間の平均利用者は約五千人である。今後、さらに多くの市民が利用するよう魅力ある充実した施設にするため、常設展示コーナーの増設、廃品を利用した教室やおもちゃ病院の開設などを実施しな

いか。また、施設の条件整備としてプラザへの交通手段を確保しないか。  
答 現在プラザでは、年四回のリサイクル教室や環境講座をはじめ、不用品交換情報コーナーの設置や生ごみ処理容器の展示などを行っている。また、十月のリサイクル月間に併せ、環境啓発用のビデオを上映し、リサイクルへの関心を高める取り組みを行った。提案のあった事業は、市民からの要望や新たな啓発方法などと併せ、リサイクルプラザ運営委員会と検討していきたい。また、プラザへの交通手段はコミュニティバスが理想と考えており、バス検討委員会と検討してもらおうと依頼したい。(他に「公共下水道について」を質問)



1月8日、「成人のつどい」が市民スポーツセンターで開催されました。今年は、846人の新成人のうち、624人が会場に集まり、久しぶりの再会に笑顔があふれ、会話が弾んでいました



滞納があった。本市でも平成十七年度分四百九十九万円、十六年度分で四百五十二万円、十五年度分で四百三十万円ほどの滞納があるそうだが、現状はどうか。不払い問題は、親の子どもへの虐待、いじめにつながる行為であり、費用負担の公平性からも滞納の根絶を願うが、滞納額を減らす方策は。この問題は、新聞報道等やネット上でも物議を醸し出しており、社会的弱者には配慮しながらも、悪質な滞納者には氏名の公表などを行うべきと思うが市の考えは。  
答 日々滞納整理に努め、平成十七年度分四百九十九万円(滞納率一・三三%)が現在二百五十二万円、十六年度分が百六十四万円、十五年度分が百六十五万円まで滞納額は減少している。滞納対策としては、初期段階での督促や部を挙げての徴収強化期間を年二回設け取り組み、例年最終的な徴収率は九九・五%程度になっている。また、経済的困窮者には生活保護制度や就学援助制度を紹介している。なお、非常に悪質な滞納の場合には最終的に法的措置も考えなければならぬが、まずは保護者に理解を求める努力をしていく。(他に「道路管理について」を質問)

## 物議を醸している 悪質な給食費滞納 の根絶を切望する

あやせ市政クラブ 中野 昌幸

問 昨年度、全国の公立小・中学校で十八億二千万円余もの給食費の